
男らしくなりたいだけなのに

変態中

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

男らしくなりたいだけなのに

【Zコード】

Z73150

【作者名】

変態中

【あらすじ】

ストレートに言えば、男らしくなりたい男の子が三人のかつっこい先輩に囲まれながら、いちゃつく話です。

これもたまにちょこちょこ書く程度だと思います

僕は昔からおばあちゃんに囲まれていた。外にでれば、おばあちゃんたちがお菓子をくれた。見た目がちんちくりんでなせいです。しかも、チワワに吠えられていたところを、通りすがりのおばあちゃんに助けてもらつたのは新しい記憶です。

そんな僕は晴れて高校生になつたのです。もう、おばあちゃんだけにモテモテな生活はおさらばです。男らしくなつて、女の子に囲まれるのです。そのためには、部活選びが重要なのです。そして、僕は決めているのです。カツコイイ先輩がいる部活に入つて、弟子にしてもらつたのです。

そんな野望を胸に抱きながら、部活見学の時間に向かつのはサッカー部です。

サッカー部といえば、カツコイイ人がいっぱいいる部活のはずです。あつ、練習しています。しししきかも、ちょーちょーカツコイイ人発見です。これは、運命でしようか。神様が僕にモテモテになるための道を示してくれるとしか思えません。

ん。僕、走ります。興奮した僕は、その先輩の方へと走りだします。あつ、先輩もこつちに走つてきます。やつぱり運命なんですねえ————。つて、あれ？

あれれ？先輩が横を通り過ぎていつてしまします。先輩の方を見な

がら、そのま

ま前進する僕。ちらりと先輩がこいつらを振り返つて田が合いました。

でも、すぐ

に前を向いて通りすぎていってしまった。僕がゆっくりとスピーチを落とした

ときには、サッカーを練習する先輩方とそれを見学する同級生たちが集まるところ

ろまできました。

「あ、あのすみません」

僕は男らしさを手に入れるために、勇気を振り絞つて一年生を勧誘しているらし

い先輩に話かけた。

「ん？ おお、新入生様じやありませんか。入部かい。」

優しく答えてくれる先輩に、サッカー部もいいかなあと思いつつ、「あ、あの……違くて、さつき、そこにいた、カツコイイ先輩は、」

「ああ、あいつは他の部活に行つたよ。」

「ど、」

「まで、みなまで言わなくともいいぞ。去年もあつたからな、こんなことが。」

といい、苦笑を浮かべた優しい先輩は、独り言のよつに言ひはじめ、「本当はうちの部活に入つてほし」とこらうだが、まあ、こやいややる部活なんて

最低だものな。うし、偉大なるこの先輩様が教えてしんぜよつと、笑いながら言つた。

「あ、はい。ありがとうございます」

「で、あいつだが、今ごろはバスケ部の方にいるだろつよ。だが、それは寄せせ

だ。あいつの部活は輝部だ」

かがやきぶ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7315o/>

男らしくなりたいだけなのに

2010年11月5日23時47分発行